

第2回

識字・日本語学習研究集会

よみかきことば・つながるための学習を支援する

2016

1/30 (土)

10:00~16:30

全体会(10:00~12:00)分科会(13:30~16:30)

『識字・日本語学習をめぐる新たなうねり

～多様な教育機会確保法案・基礎教育保障学会設立準備など～(仮)』

野山広さん(国立国語研究所)

【場所】大阪教育大学天王寺キャンパス西館ホール、その他

【対象】識字・日本語教室参加者、夜間中学校関係者、学校教員、行政担当者、市民団体など

【定員】150人 【参加費】無料 一時保育あり 【申込先】大阪教育大学学術連携課地域連携係

【申込方法】名前・連絡先・希望分科会をご記入の上、FAX またはメールでお申し込みください。

FAX : 072-978-3554 メール : renkei@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

※一時保育を希望される場合は、お子様のお名前・年齢をご記入の上、1/15(金)までにお申し込みください。一時保育対象年齢：6カ月～就学前児童

【主催】大阪教育大学 教職教育研究センター／識字・日本語学習研究集会実行委員会

【共催】識字・日本語連絡会、おおさか識字・日本語センター

【後援】大阪府教育委員会(予定)、大阪市教育委員会(予定)、堺市教育委員会(予定)

分科会の紹介

A分科会 人権としての識字・日本語学習

～生い立ちをつづる、生活をつづる、未来をつづる～

大阪における識字・日本語学習の特徴のひとつは、人権という観点を土台に据えて展開されていることだといわれます。被差別部落の識字学級や夜間中学校においては、自らの生い立ちや暮らしをつづることが大切にされてきました。現代にあって、また日本語学習にとって、このことはどういう意味を持っているのか。小グループでの話し合いも取り入れて、識字・日本語学習で大切にすべきことを話し合います。

B分科会 法律制定や政策をめぐる動きに学ぶ

～夜間中学校や識字・日本語学習の今後の道筋を考える～

国会では、超党派の議員により「多様な教育機会確保法」が策定され、国会上程一步手前まで行きながらもこの度は制定が断念されましたが、次の会期での成立に向けての動きもあります。また、文科省は、夜間中学とともに識字教室についても調査して、「入学希望既卒者」への対応通知を出し、「少なくとも都道府県に1つの夜間中学をめざす」という動きを促進しています。このような状況の中、夜間中学校の今後の道筋、識字・日本語政策への影響とそのあり方などを参加者全体で考えていきます。

C分科会 日本語学習の必要な子どもたちへの支援をめぐる現状と課題

昨年度、設定されたこの分科会は、他分科会にもまして多くの参加者を得ました。そのことは、現在の教育現場で、このテーマがいかに重要な位置を占めているかを示しています。また、昨年度の議論を経て、子どもの課題をめぐる議論が、明日のおとなの課題を追究することに通じているという点が実感されました。子どもたちの学力保障やアイデンティティ形成などをめぐってさまざまな取り組みが全国各地で行われており、課題も見えてきています。現在の取り組みを交流するとともに、課題を探ります。

D分科会 識字・日本語教室の運営を考える

さまざまな場所で行われてきた学級開設や教室運営の努力を交流し、学び合います。ワークショップを通して、さまざまな場所での学級開設の実践を交流し、お互いの知恵を交流しましょう。なお、現在、大阪教育大学では「識字・日本語学習ボランティア講座」受講生グループにより識字・日本語教室開設準備が進められています。結果として、本学主催教室の意義と役割が明確になることも期待しています。

E分科会 識字の歴史をふりかえり、未来を展望する

大阪の識字運動は1970年前後に始まりました。それから半世紀近くがたち、さまざまなことが変化してきました。その歴史をふりかえり、何が大切にされてきたのか、これから何を求めるべきなのか、追究しましょう。今後の社会では、情報機器をはじめ、新しい技術や制度に対応することが不可欠になっています。この分科会では、それらのことも視野に入れながら話し合いを深めます。

会場案内

〒543-005
大阪市天王寺区南河堀町4-88

- JR・地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅より700m。
JR 寺田町駅より300m

